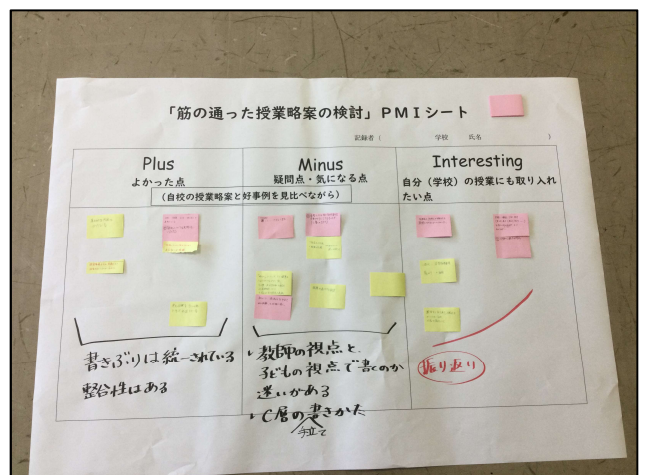
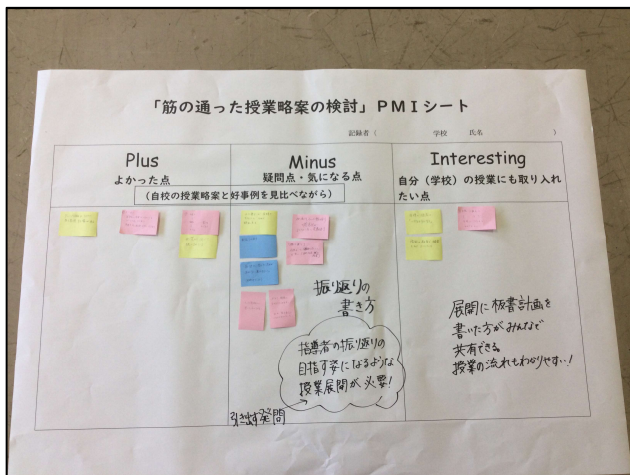


期日
会場

令和6年5月9日(木)13:30~16:30
県佐伯総合庁舎(大会議室) 31名出席

内容

- 1 説明「佐伯管内の課題と今年度の授業改善の重点」
 - (1) 佐伯管内の課題
 - ① 筋の通った授業略案
 - ② 「振り返り」場面の意義、振り返り場面での教師の問い(発問)
 - ③ ICT活用の必然性
 - (2) 研究主任等へのお願い・・・学校の教育目標達成と校内研究推進が連動した取組へ
 - (3) 管内指導の重点と教科・道徳・特別支援学級・通級指導の授業略案様式 ほか
- 2 講義(オンライン)「授業の『振り返り』場面を振り返る」上越教育大学 河野 麻沙美准教授
- 3 演習・研究協議「筋の通った授業略案の検討」
 - (1) 自校の略案と好事例の略案を比較検討、PMIシートをつかって自校の課題の明確化



【参加者の感想】※抜粋

【参加者による達成度評価】3.9(4段階法)

- 振り返りの場が「主体的に学習に取り組む態度」を評価する場でもあるということがわかった。
- 河野麻沙美先生の「個別最適な学び」は、その子に合った課題を与えることではなく、子どもが自分に合った学び方を考えていけるようにすること」という言葉に納得した。
- 振り返りについて、理論に基づく話がきけたので、校内研修などで振り返りについて話すときに、説得力を持って話せると思った。質の高い単元を構想することが、めあてや振り返りの質の高さにつながり、資質・能力だけでなく、子どもの主体性を育てていくことにつながると思った。
- 振り返りのポイントを提示して書かせるという内容に納得できました。これまでの振り返りの指示は具体性に欠けていたので、今後の授業で生かしたいと思います。